

令和4年4月20日

各 位

公益財団法人祇園祭山鉾連合会
理事長 木村 幾次郎

令和4年度(2022年度)
「京都祇園祭の山鉾行事」の実施につきまして

日頃より私ども「京都祇園祭の山鉾行事」につきましては、多大のご支援ご協力を賜りましておりますこと、厚く御礼申し上げます。

さて、本年の行事につきまして、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、八坂神社様はもちろんのこと、京都府様・京都市様・京都府警察本部様はじめ、私どもが行事を行うに欠かせない皆様にご相談しながら、山鉾保存会の代表者会議や連合会役員会の会議を重ねて検討して参りました。

その結果、引き続き新型コロナウイルス感染症の状況に留意し感染対策の徹底を前提にしつつ、この大切な文化遺産を継承する責務がある連合会並びに保存会の思いとして、本年の山鉾巡行につきましては、できる限り本来の形で行事を催行することを確認し、総意として決定しましたので、ご報告申し上げます。(※)

なお、宵山行事につきましては、やはり可能な限り本来の形で実施したいと考えておりますが、関係機関との調整・検討が継続中であり、決定次第、改めてご報告いたします。

何卒皆様には、一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

※ ただし、緊急事態宣言が発出された場合は、計画の大幅見直しを行う。また、まん延防止等重点措置が発出された場合も、再検討を行う。

【決断に至った理由】

1. 800年近くにわたって市民の絶え間ない努力により維持されてきた、この大切な文化遺産である山鉾行事を、確実に次世代に継承し、この先も永く継承するために、本来的には、欠かさず行事を遂行することが我々に課された責任であること
2. 山鉾建てはじめ多くの行事においては熟練された技術が必要であるが、行事の中止が続くことにより、技術の伝承が途絶える懸念があること
3. 山鉾行事は、2万人とも言われている多数の京都市民や団体の皆様のご参加により成立しているものであり、今後も行事の中止が続けば、これまで培ってきた多くの皆様との連携の継続が困難になる懸念があること
4. 京都市民をはじめ多くの皆様から、山鉾行事の実施を望むご意見をお寄せいただいていること